「ひょうごの木」の新たな価値づくり

県産木材の新しい価値を創出する場「『ひょうごの木』Creation Base」では2024（令和6）年の創設以降、林業や木材産業をはじめ、飲食業、酒造業、デザイン業など約40の企業・団体が集まり、コラボ商品の開発やイベントの企画等を行っています。昨年からは、神戸市内で開かれている「EAT LOCAL KOBE FARMERS MARKET」とコラボし、「木と食の循環を考えるマーケット」を実施。農産物等のブースに交じって「ひょうごの木」を使った製品を販売しています。本年度は残すところ11月7日㊏、14日㊏の2回です。ぜひお越しください。（県林務課）

詳しくはこちら

問県林務課 ☎078-362-9224 Ⓕ078-362-3954







1太田工務店㈱の雑貨。2㈲ハヤシ工務店の「熟成バー」。3Lotus Design Studioの木の袋「福紙®」。

Creation Base メンバー

（一社）KOBE FARMERS MARKET代表
小泉亜由美さん

森林は豊かな水や土を生み農産物を育む

私たちは地産地消を掲げる団体として、豊かな土壌と美しい水を生み、田畑や海を育む森林にとても関心があります。マーケットでの木との出合いから、県産材の活用が日常に広がりつつあります。昨年はメンバーとコラボし子ども用のきねや臼を開発。〝木育〟冊子も制作中です。

㈲ハヤシ工務店代表取締役
林勝也さん

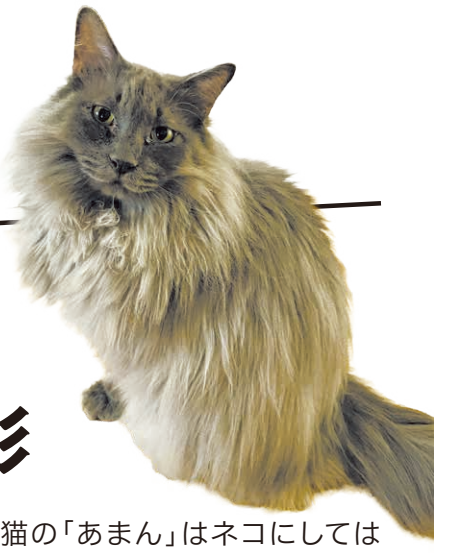
食分野との連携で木の可能性を広げる

県産木材で家を建てています。以前から「木を食べられないか」と考えており、食分野と連携しようと、参加しました。ウイスキーに桜や杉の芳香を付けるための端材「熟成バー」は、同じく端材を使った食器と共にマーケットでも好評です。もっと木に触れ、木の可能性を知ってほしいと思います。

木と食の循環を考えるマーケット

日①11月7日㊏②14日㊏10時～14時 所県公館前・東側広場（神戸市中央区）
【出店者】①Lotus Design Studio（「福紙®」）、㈲ハヤシ工務店（「熟成バー」、アクセサリー）、valtaku wood craft（キーホルダー）②Lotus Design Studio（「福紙®」）、㈱宮下（キッチン用品）、太田工務店㈱（雑貨）

詳しくはこちら



「ゆうがたひとはく」始まっています

三田市にある「県立人と自然の博物館」では、敷居が高いと思われがちな博物館を思い出に残る場所にしたいと、小中高生が対象の「ゆうがたひとはく」※を6月にスタートしました。放課後にふらっと寄れるよう、水曜と金曜の14時から17時30分までエントランスホールを開放。自習をしたり、ゲームをしたりと自由に過ごすことができ、質問があれば常駐スタッフが研究員につなぎます。自然科学について深く知りたい人はもちろん、そうでない人も大歓迎です。（県立人と自然の博物館）

※「ゆうがたひとはく」は、文化庁のInnovate MUSEUM事業採択プログラム「放課後の子どもの居場所・学び場（シェア・ラボ）づくり」として実施

問県立人と自然の博物館 ☎079-559-2001 Ⓕ079-559-2007



詳しくはこちら

第3金曜の16時30分から17時までは「研究員トーク」も。

ネコでは初県功労動物表彰



抱き心地が人間の赤ちゃんに近い「あまん」（雄、3歳）。イヌと一緒に活動できるのも〝セラピーネコ〟として活躍できる理由。

問NPO法人日本アニマルセラピー普及協議会
☎079-496-2117
Ⓕ079-496-2118

詳しくはこちら

保護猫の「あまん」はネコにしては人懐っこく、私たちが取り組むセラピー活動に向いているかもしれないと、2023（令和5）年12月、少年院での活動に連れて行きました。すると、抱っこした少年たちは自然と柔和な表情になり、笑顔も見られました。以降、県内の少年院や刑務所、高齢者施設などに年に20回ほど赴いています。ネコでは初めて兵庫県動物愛護協会から昨年度の県功労動物表彰を受けました。「あまん」のぬくもりを通して少しでも安らぎを感じてほしいと思います。（NPO法人日本アニマルセラピー普及協議会）

みんなの声 財政状況が分かりやすく書いてあり、厳しい状況であることや、今後の改善の見通しが分かりました。（朝来市・西川さん）